

(区政有識者会議と区政戦略会議との合同会議 11月29日)

	意見要旨	天王寺区の考え方	修正
区の将来像			
	区の将来像の4項目の、もう1つ上に方向性を示す、標語的なものが必要ではないか	良いアイデアをいただければ、ご参考にさせていただきます。	なし
「区民の声」集約プロセスの強化			
	サイレント・マジョリティを取り込むには、区役所職員では無理で、地域・町会に落とし込み、根気よく行うしかないと考える。	積極的に意見を寄せることの無い、多くの区民の意見を職員が把握することは、非常に重要であると認識しています。 しかし、それだけでは十分では無いことから、行政だけではできないところを地域の方々の地道な取組により補完していただく、ということが重要と考えております。	なし
日本一の文教「都市」をめざした人材育成の取組と海外人材の活用			
	・公立塾 自身の経験では、塾に通わなくても大学に進学できた。公立塾の設置よりは、意欲があれば学校で十分教育を受けることができるよう、学校の教育システムを充実させるべき	行政が塾を設置する方法を選択するかどうかは今後、検討してまいります。子どものライフサイクルを見た時に、受験期が一番お金が必要であり、中でも塾代が主な支出項目であることから、子育てにかかる経費負担を緩和することで、子育て支援を強固にしたいと考えております。	なし
	収入が一定以上ある家庭でも、介護などにかかる経費が多く必要で、生活保護を受けている家庭よりも、生活が苦しい場合もあるので、公立塾の対象を一定の所得で限定することなく、公平な学校での教育が望ましいと考える。	大学進学率も所得による格差というものが影響しているという声や実証もあることから、塾に行きづらい所得階層に対しては行政が責任を持って補助できる制度が必要だと考えます。	なし
	塾について、公がすべき事業と民間がすべきのボーダーラインが非常に難しく、公がすることによって民業を圧迫してしまうリスクがあるのではないか	大学進学を考える場合、学校教育だけでは足りず、進学塾に通い、より高い学力をめざさなければならない厳しい状況の中で、所得の低い層は塾に行きづらいということについて、行政が責任を持って補助できる制度があれば検討する必要があると考えます。	なし
市政改革プランに基づく「大きな公共を担う活力ある地域社会づくり」			
	最近、地域の人顔が見えない。長い間、地域に住んでいる人と、最近引っ越して来られた人とをつなぐような取組について、行政が支援すべき	連合振興町会エリア単位の団体が連携し、新しい住民や若手世代も一体となって地域課題の解決、地域の活性化に取り組む「地域活動協議会」の形成支援・活動支援に取り組みます。 あわせて、様々な広報媒体による地域活動の発信にも引き続き取り組み、活動の一層の活性化、多くの区民への広がり支援してまいります。	なし
	目標に近づくためには、地域との信頼関係だと考える。信頼関係のもと、みんなでやっという気持ちがないと、良い計画を立てても実現しない。	区政に対する地域の皆さまの信頼無くして、区政の推進はあり得ないと考えており、よく聴き、しっかりと説明し、信頼関係の構築に努めてまいります。	なし

資金捻出・調達・外部人材資源の公共への活用に「革命」を起こす！		
区役所を利用して、利益をあげるとのことだが、武士の商法のような感じで、非常に危険ではないか	利益ではなく、新たな施策を推進していくための貴重な財源を確保するために取り組む必要があります。また、日常的に活用されていない区役所内の貴重なスペースを、区民活動の場として提供したいと考えております。	なし
固定資産税、都市計画税が大きな財源となってくるはずだが、言及されていない。	税収入はさまざまな施策を推進していくうえで、貴重な財源であると認識しております。この他、インターネットを通じて資金提供を呼びかけるクラウドファンディングの導入や、区内行政財産の目的外利用、区内公共施設を活用した広告募集の推進、ふるさと納税制度の更なる活用など、新たな財源確保に努めてまいります。	なし
その他		
・都市計画 警察前の都市計画道路の早期整備について、まず一番先にすべき内容であって、それが掲載されていない。	都市計画道路の整備は広域行政の所管事項であることから言及しておりません。道路整備については、地元の意向を反映してもらえるよう、局へ意見具申していきます。	なし
・文言表記 わからないカタカナがあまりに多すぎるので、もう少し説明をつけるか、わかりやすい言葉で表現すべき	語句の説明もしくは、わかりやすい語句を使用するなど、誰もがわかりやすい表現に改めます。	あり

	意見要旨	天王寺区の考え方	修正
「区民の声」集約プロセスの強化			
	あなたの声をつなげ隊活動の費用対効果の評価が難しいので、評価の仕方をどのようにするかが重要	あなたの声をつなげ隊が把握したニーズを新たな施策にいかに関与させるか、が評価のポイントであると認識しています。 取組結果については、今後公表してまいります。	なし
日本一の文教「都市」をめざした人材育成の取組と海外人材の活用			
	インターンシップに参加する子どもに対して、意味合いを含めた事前のプログラム説明が必要であると考えている。受け入れ企業とも、意味合い、受け入れ期間など、きっちり調整したうえで実施してほしい	インターンシップは ・学校教育のカリキュラムに入れる ・学校教育外として実施する など、様々なパターンがあることから、効果的な方法を追求してまいります。	なし
	インターンシップの対象として、区内在住に限定した場合、学校との連携が難しくなるのではないかと	学校教育では提供されない社会教育の機会を作ることにより、子どもの将来への挑戦の一助とすることが目的であることから、その趣旨にかなうよう、多様な企業等と調整していくとともに、実施にあたっては子どもに十分な説明を行ってまいります。	なし
	インターンシップに参加した中高生にとって、やりがいのあるものとなるよう、中身の濃い企業選びが必要だ。	また、予期せぬ事故への対応方法や交通費等の経費負担方法など、様々な課題はありますが、他の自治体における事例などを参考にしながら、より多くの企業に参画いただき、より多くの子どもが参加したくなるような制度設計を進めてまいります。	なし
	高校では大阪府の私学課と連携したキャリア教育に工夫しており、また文部科学省の指導要綱に基づいたカリキュラムを削ることができないという制約の中、インターンシップについての学校の姿勢、学校教育者の考え方とも聞く必要がある。		なし
	インターンシップでは参加できる学生数に制限が出てくると思うので、企業などからスペシャリストに学校に来てもらい、教えてもらう方が人数に制限がなくて良いのではないかと		なし
	労災の不安や景気を考えると、区からの補助金などがなく、企業がインターンシップを受け入れてくれないのではないかと		なし
	インターンシップの実施には、交通費をどうするか、またモンスターペアレントによる学業の遅れへの責任を求める声など、様々な問題も出てくると思うので、保護者の理解と学校の理解が必要だ		なし
	インターンシップ受け入れ企業にメリットが無く、成立しないのではないかと		なし
	自分の会社でも社会見学で子どもを受け入れるが、ケガなどすることの無いよう、びくびくしながら受け入れているので、インターンシップ受け入れに協力してくれる企業をいかに上手に見つけるかが難しい。		なし
	善意でインターンシップを受け入れてくれる企業に、迷惑がかからないよう、現場での事故なども最初から想定しておくことが大事		なし
	インターンシップで実際にその職業を体験することで、次の担い手となってもらえるのではないかと。子どもたちに、祭りでお店を出店させてみるのもおもしろい。		なし

お年寄り一人ひとりの命を守り抜く地域福祉		
遠縁に介護が必要な夫婦がいて、介護を身近に感じることができるが、ボランティアの方に見守りしていただくことは、すごく良い取り組みだと思う。	<p>この取組は、まずは独居高齢者や高齢者のみの世帯を対象に、ボランティアが定期的に訪問を行い、医療・介護・虐待対応等を要する方の早期発見・早期対応を促進するものです。</p> <p>実施にあたっては、地域活動協議会など地域の皆さま及び地域包括支援センターなど関係機関との連携を十分に図るとともに、区役所にはボランティアを統括するスーパーバイザー*を配置し、進捗状況を一元管理するなど、効果的な取組となるよう努めてまいります。</p> <p>また、訪問対象を障がい者など、真に見守りが必要な世帯へ段階的に拡大してまいります。</p> <p>なお、ネットワーク推進員制度につきましては、24年度末をもって全市的に廃止の方針となっております。</p> <p>*スーパーバイザー 監督または管理者のこと</p>	なし
見守りが必要なのは高齢者だけではなく、障がいを持っている人や難病を抱えている人もいるのではないかな		あり
見守りに当たっては、これまでの地域のネットワーク委員会とも連携した取組が重要で、見守りサポーターとうまくかみ合わさることで、効果的な取組になると思う。		なし
見守りに当たっては、町会が活躍すればほぼカバーできるのではないかな。人材育成の観点からも、小中学生が興味を抱く職業の話をしてもらうことも可能。もっと町会に活躍してもらったうえで、足りない部分をボランティアで補う視点の方が良いのではないかな		なし
昔ながらの街並みの地域と、マンションが建ち並んでいる地域とでは、別の視点で独居高齢者の見守りを行うべきで、前者では町会を最大限活用すべきだ。		なし
安全、安心と高齢者福祉について、力を入れている地域活動協議会もあるが、地域活動協議会の取組みとはどのようにかわるのかな		なし
ポストに新聞や手紙が多くたまっていた場合、見守りサポーターの連絡先がわかれば連絡をすることができる。独居対策ダイヤルのようなものを作り、一括して対応してもらえる窓口があれば良いと思う。		なし
ネットワーク推進員はH25年3月に廃止される。これまで蓄積されたノウハウやデータについては、次の見守り体制に継承されるべきだ。		なし
ボランティアはなかなか集まりにくいと思うので、区役所職員が有給休暇の際に見守りに参加するとか、CSR（企業の社会的責任）など協力を仰いではどうかな		なし
地域包括支援センターという制度がせっかくあるので、役割分担などして、有機的に連携させるべきだと思う。		なし

(より多くの人に「災害対策リテラシー」を向上する事業の追求)			
	ソフト面も良いが、ハード面において弱点を抱える地域の課題も解消していくべき。災害時に危険な電柱の地中化を行うなど。	老朽木造住宅が密集している地区など、ハード面の施策が必要であることは認識しております。区の権限で実施可能な事項については区で検討し、広域行政の責任領域については、局へ検討を促してまいります。	なし
	あなたの声をつなげ隊に災害対策出前講座もしてもらおうということだが、独居高齢者見守りサポーターにも防災の内容をやってもらえたほうが効率的ではないか	まずは生活状況を見守り、医療・介護・虐待対応等を要する方の早期発見、早期対応の体制の構築を図ることとし、施策を進める中で、ご意見をお聴きしながらあり方を検討してまいります。	なし
	あなたの声をつなげ隊に区民の声集約の他に災害対策出前講座もしてもらおうとなると、かなり業務量が増えると思うので、職員以外にボランティアにもつなげ隊に参加してもらえれば良いのではないか	災害対策は、職員による取組とともに、地域の方々による共助の取組が重要であると認識しており、引き続き支援してまいります。	なし
	A4 1枚もので全戸配布する資料について、住居だけでなくオフィスにもかなり被害がでると思われる。学校や企業にも配布を検討して欲しい。	より多くの人に自分の身は自分で守る「自助」の意識を高めていただくためにも、住居のみならず、学校、企業にも配付することといたします。	なし
その他			
	それぞれの取組について、どの程度の予算が必要かを明記する必要がある。	年度ごとの取組については、予算においてしっかりと説明してまいります。	なし

(区政有識者会議委員 12月11日～)

意見要旨	天王寺区の考え方	修正
(日本一の文教都市をめざした人材育成の取組と海外人材の活用)		
1歳未満の子を持つ母親が働きたいので保育所を申し込んだが、なかなか預かってもらえない、と聞いている。女性が働ける環境を作ってほしい。	保育所の誘致や個人実施型保育ママ事業などにより、待機児童の解消を図ってまいります。	なし
公立塾について、ゆとりのある大学生がボランティアを通じて活動してもらえないか。教えることで自分も教えられるし、つながりにもなると思う	所得階層が低い層に対して行政が責任を持って補助できる制度として方向性をお示ししました。いただきましたご意見も踏まえ、今後幅広く区民の皆さまのご意見をお聴きし、検討してまいります。	なし
インターンシップは分野を特化しても良いのではないか。芸術分野やワークショップも良いのでは？ビジョンにはパソコンを使ったプレゼンテーションや文書作成とあるが、クリエイティブな発想を持つようにしようとすれば、あらゆる角度から多面的に体験してもらうべきで、それが記載から抜けている。修正が必要ではないか	パソコンを扱う技能やドキュメンテーション（文書作成）、プレゼンテーション（自分の考えを発表すること）に限定したものではありませんので、修正いたします。	あり
NHK「ようこそ先輩」という番組で、草木染めなど、職人を学校に来てもらい、生徒に体験してもらい、など技術・職業のことを教えるべきで、パソコンは関係ない。		なし
お年寄り一人ひとりの命を守り抜く地域福祉		
独居高齢者見守りサポーター（仮称）について、ネットワーク推進委員を廃止して、有償で事業を実施するなら、ネットワーク推進委員の継続的な雇用をお願いしたい。無償ボランティアは4～5年で無理になると思うから、有償ボランティアは絶対に必要である。	ネットワーク推進員制度は24年度をもって全市的に廃止の方針となりますが、これまで地域福祉に携わってこられた方の蓄積の活用、地域事情をよく把握した有償ボランティアの配置を進めてまいります。	なし
ネットワーク推進員が廃止されることとなり、推進員としてはこれまでやってきたことを否定された気持ちになっている。	医療・介護等の対応を要する事案については、専門的知識を有するスーパーバイザー*を区役所に配置し、その指示のもと、地域包括支援センターなど関係機関と十分に連携を図り、高齢者の見守り体制の構築を進めてまいります。	なし
独居老人には2種類あって、意識のしっかりしている人と、セルフネグレクトのような、そうでない人がいる。後者はボランティアで相手が出来るとは思えない。行政ですべきものとそうでないものを分別しないとイケない。	*スーパーバイザー 監督または管理者のこと	なし

より多くの人に「災害対策リテラシー」を向上する事業の追求		
<p>災害対策の訓練は区民自分自身のために、毎年実施すべきである。</p> <p>興味を持ってもらうことが大事。町会や身体障害者団体協議会も同じで、興味を持ってもらえなかったら会員になってもらえない。</p> <p>災害訓練で自衛隊を見たことが無いから、訓練に来てくれたら見に行くだろう。</p>	<p>共助意識の向上に向け、災害対策訓練は重要であると認識しております。</p> <p>より多くのご参加をいただけるよう、興味を持ってもらえる、来てもらえる災害対策訓練となるよう、企画してまいります。</p>	なし
<p>家具固定グッズを、取り付けの仕方など教えながら売れば、安心して購入することができる。グッズを買っても、家具にあわなかったり、取付ができなかったり、取付だけを業者に依頼しようにも悪徳業者の心配もあるし、区役所がしてくれば安心。</p> <p>家具固定取付支援は、ボランティアを活用できないか</p>	<p>自助の取組として家具固定は重要であり、グッズの入手方法など、あらゆる機会を活用して周知に努めてまいります。あわせて、ご自身で家具固定取付グッズを取り付けできない方には、取り付け支援を行ってまいります。</p> <p>実施方法については、悪質な訪問販売が入り込むことがないように周知に努め、民間事業者への委託を基本としながらも、ボランティアの活用など、効果的な方法を検討してまいります。</p> <p>表現の追記をいたします。</p>	あり
<p>引っ越し業者が家具が固定される青色の粘着シートを引っ越しの際に無料で配布するサービスを見たことがあり、シートを欲しいと思ったが、どこで売っているかわからなかった</p>		なし
<p>家具固定取り付け支援について、押し売りに気をつけないといけないご時世だし、業者が来ても警戒心が出るのではないか。</p>		なし
<p>ひったくりが増えている。防犯カメラの台数がまだまだ足りない。設置には補助があるが、ランニングコストには補助が無い。犯人が映っている映像を警察に提供するにも、かなりの手間が必要。そういうことがあまり知られていない</p>	<p>従来からの「補助」による設置促進に加え、今後、特に重点的に取り組むべき箇所については、行政の責任で設置（公設置）するなど、安全の確保策を強化してまいります。</p>	なし
戦略的なシティ・プロモーション		
<p>J R天王寺駅北口の活性化については、大型スーパーがたくさんできて、桃谷商店街も歯抜け状態である。もっと経済を活性化させなければならぬと考えている。</p>	<p>天王寺区の活性化はもとより、市全体の均衡のとれた発展のためにも、JR天王寺駅北口エリアの将来構想は非常に重要であると考えています。</p> <p>また、治安上の課題については、警察などと連携し、引き続き取り組んでまいります。</p>	なし
<p>J R天王寺北口は活性化して欲しい。これまで都市計画道路の計画で建替するにしても規制があり、地権者の高齢化も進んでいる。治安上も問題だ。</p>		
<p>区内には歴史的な資産が多くある。スタンプラリーもいいし、生魂の落語なども取り入れたらいい</p>	<p>いただきましたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>	なし
<p>三光神社には真田の抜け穴がある。本当に地下トンネル、地下遊歩道を作れば、観光の目玉また防災にも役立つのではないか</p>		
資金捻出・調達・外部人材資源の公共への活用「革命」を起こす		
<p>クラウドファンディングは、持ち逃げされないのであれば、お金は出してもらえらると思う。天王寺警察署の西側の用地が今売却に出されている。現在、高齢者や子供が危険にさらされている、進まない都市計画道路の整備に活用するために区が取得するとなれば、3~4億くらいすぐに集まるだろう。府営 権寺住宅用地の売却の際にも、みすみず取得する事無く売却を許した。同じ過ちをしてはいけない</p>	<p>ご指摘の用地は大阪府所管用地であり、本市が買い取ることはできませんが、都市計画については区に権限がないものの、地域の声を尊重した広域行政の判断を促がしてまいりたいと考えております。</p>	なし

快適に利用できる区役所の追求		
区役所も儲ける必要がある。区役所の西側通路を利用することができれば、コーヒーを提供するスペースとして参加したい。	スペースの活用に関する事業者の募集の際には、ぜひご応募いただきますよう、お願いいたしますとともに、名品・キッズスペースについては。平成25年度から実施してまいりますので、ご協力よろしくお願いいたします。	なし
名品について、蔵にあったものを出してもいい。		
キッズスペースの確保について、是非とも早急に環境整備して欲しいと思います。		
市政改革プランに基づく「大きな公共を担う活力ある地域社会づくり」		
マンションに住む人は管理組合に管理費を払うので、町会に加入すると町会費もとられ、二重払いになるので嫌がる。町会未加入者は町会のメリットがわかりにくい、というが、天王寺区の町会に入ることがステータスだと思う。それくらい天王寺区には魅力がある。	新規に建設されるマンションに対して、建築確認申請前の段階に本市が行っている、「大規模建築物の建設計画の事前協議に関する取り扱い要領」の再検討とあわせて、区長がマンションの建築主、所有者・管理者、居住者に対して指導できるよう規定の改正に向け、区長課題別検討会議マンションプロジェクトチームによる議論・検討が行われております。	なし
マンション建設の際に、町会加入を義務付けることができないか		
その他		
区長は子どものためなら、いくらでも予算をだすと言うが高齢者をどう扱うのか。高齢者食事サービス費用は全額補助の約束をしてくれたが、ほかのことはどうか。	未来を担う人材育成の観点から、子ども、子育て世代を対象とした取組を進めるとともに、天王寺区独自の高齢者見守り体制を構築するなど、お年寄り一人ひとりの命を守り抜く地域福祉施策にも取り組んでまいります。	なし
今後合区もあるし、エリアでのビジョンならわかるが、区ビジョンはちょっと…という意見が多い	特別区の設置にかかる議論がなされておりますが、地域における課題は変わることが無いと考えており、区ビジョンを策定しております。	なし
上町断層は別として、地盤も強固。安全、歴史的・文化的資産、文教地区、そうした特長を活かしたまちづくりを進めて欲しい。	災害対策も含め、区民が安心して、安全に暮らすことができ、歴史的・文化的資産に誇りを持って頂けるよう、特長を活かしたまちづくりを進めてまいります。	なし
商店街振興助成はどうなるのか。予算があったから、彦八まつりや落語会もできていたが、今後もコミュニティ協会のような方がお世話をしてくれるのか。事務局的なものを置く余裕は全くない。	商店街振興については、経済局とも連携し、引き続き取組支援を図ってまいります。事務局に関しては、各団体とも、自主的な運営をお願いいたします。	なし
ビジョンにはインフラ整備が抜けている。都市計画に問題があり、そこを解決しなければ日本一の文教都市になんか成れない。日本一の文教都市になろうとすれば、もっと新しい学校を作ったり、きれいな町にするため新しいものをどんどん進めないと、古典的な寺社では日本一にはなれない。寺社が多いのは逆に弱みだ	日本一の文教「都市」は、文教都市としての価値をさらに輝かせるためにも、子育て世代の負担感をできる限り緩和するとともに学校教育では提供されていない、社会教育の機会を提供などでめざしてまいります。既に決定されている都市計画道路の整備に関しては広域行政所管事項であることから、関係局へ伝達することといたしますが、寺社など歴史的資産の集積は区の貴重な財産であり、それを活かした区政運営を展開してまいります。	なし
今の学校のままではいけない。学校のレベルも、教師のレベルも上げて行く必要がある。日本一の文教都市にするための学校ビジョンが掲載されていない。	学校教育は基本的に区長の権限外であることから、社会教育の機会の提供などで、日本一の文教都市をめざしてまいります。	なし